



副本

令和5年11月30日(木)

教育指導課

国際バカロレア (IB) 機構との打ち合わせについて

- 1 日 時 令和5年11月30日(木) 9時30分から11時00分まで
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 参加者  国際バカロレア機構アジア太平洋地区代表
成澤区長、加藤教育長、
- 4 内 容

○ 確認した教育界の潮流

- 都内難関私立高校では、国内の国立大学だけではなく、海外の大学への進学者数も増やしている。
- 有名私立大学のある学部では、定員の7割程度を学校推薦型選抜(旧・推薦入試)や総合型選抜(旧・AO入試)でとっている。
- インターナショナルスクール経験者を積極的に受け入れている私立中高一貫校が出てきている。かつては中堅レベルの学校でこのような取り組み姿勢があったが、最近では中堅以上の学校でも積極的にインターナショナルスクール経験者を受け入れるなど、優秀な人材を確保することにアンテナを高くしている学校が出てきている。

○ 国際バカロレア (IB) 機構が目指すもの

- 社会に貢献し、世界平和に寄与する子供が育つ。
- 学校教育の価値を取り戻す(学校と塾は違う)。

○ 国際バカロレア (IB) 機構ができること

- 教員研修
- 海外への橋渡し(海外との交流、海外派遣等)
- 関係機関との連携・調整(OECD、文部科学省、海外のIB等)

○ 令和6年度にできること

- 研修: 教員の指導観を変えるきっかけに(校園長研修会)。
- カンファレンス: 文京区、国際バカロレア (IB) 機構、OECD、文部科学省、学識経験者等によりシビック大ホールで実施。保護者、地域、関係者等への発信。
- 視察: 国内外のIB校(学大附属大泉小、香美市立大宮小、海外)へ教育委員会及び教員が訪問。

○ 留意事項

- 現場の負担にならないように。できるところから始める。文京区にIB校を作るわけではない。

○ 期待する姿

- 子供たちが身に付けた力を社会のために活かそうとする態度が育まれる。
- 日本人のよさを再発見する。
- 世界平和に寄与する子供が育つ。